

令和4年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす南谷山
鹿児島市小松原2丁目23番30号

電話 099-267-6611

FAX 099-267-7311

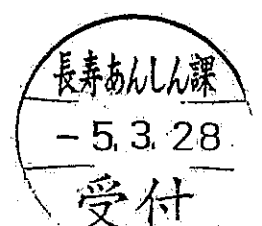
メールアドレス minamitaniyama@medicorp.co.jp

令和5年3月28日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事―①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年1月20日(18:00～19:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	上高原、松元、下満、山下、福田、松村、古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	3人	12人

前回の改善計画	- 新型コロナウイルスの収束後にはなるが、担当者会議の日程調整を行う際に、ケアマネジャー以外の職員にも担当者会議への参加が出来るように配慮する。 - 新型コロナウイルスの収束後には、主介護者以外の介護者やご家族との交流を通じて、利用者情報の共有や新たな関係構築など支援の幅が広げられるようにする。
前回の改善計画に対する取り組み結果	- 利用開始前にケアカンファや会議、臨時のミーティングを通して新規のご利用者の情報を、全職員で共有できている。 - 数回ではあるものの、担当者会議への職員の参加ができた。 - 新規利用の前に体験利用をしてもらうことで、職員がご利用者の情報を得ることにつながった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	2	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	2	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- ミーティングや会議等の際に新規利用者の情報を確認できている。 - 利用に慣れていないご利用者には、不安がなくなるような声掛けを行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 担当者会議は人員配置が上手くいかず、2～3回程しか実施できなかった。 - 新型コロナウイルスが収束せず、事業所のイベント等にご家族が参加できないため、主介護者以外の方との関りがほとんどない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 新型コロナウイルス感染症の収束後には、主介護者以外の家族とも交流がとれるような機会(イベント開催等)を設けることが出来るよう配慮する。 - 人員配置や日程の調整を行い、担当者会議に職員が参加できる機会を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 1月 20日 (18:00 ~ 19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 上高原、松元、下満、山下、福田、松村
古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	1人	12人

前回の改善計画	・目標についての情報について、日々の申し送りやカンファレンス、ミーティングを通じて全職員で共有し、目標が達成できるよう、日常生活全般に配慮した支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・カンファレンスや職員会議の中で、本人への支援について配慮する点など、話し合うことが出来ている。 ・本人の目標や想いを把握した支援が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	3	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	4	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	6	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	6	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の目標がある程度わかっている。 ・ご利用者の想いを尊重した支援を行っている。 ・カンファレンスや会議、申し送りノート等を通して、情報の確認が出来ている。参加できなかった際は、周りから情報を聞くように努めている。 ・ミーティング内で積極的に発言をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・申し送りに参加する機会が少ない。 ・ケアプランをしっかりと目を通すことが少なく、本人の自己目標についての理解が不足している。 ・情報収集不足から、ご利用者一人一人の目標を把握できていない。 ・日々の業務に追われ、関わった内容についてミーティング内での発信ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・人員配置だけでなく、全職員で業務手順の見直しをすることで、職員が申し送りに参加する機会を増やす。 ・担当職員それぞれが、担当のご利用者の目標や想いを把握するだけでなく、周りの職員への発信力を高めることで、お一人お一人のご利用者の目標や想いを全職員で共有できるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施 日	令和 5 年 1 月 20 日 (18:00 ~ 19:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	上高原、松元、下満、山下、福田、松村 古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	4 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・自宅での生活環境の把握について、「以前の暮らし方を10個以上把握する」という事にこだわるのではなく、生活支援を行う上で必要な情報を収集・共有するように心掛ける。 ・当日の勤務体制上、即時的なミーティングの開催が厳しい面もあるが、書式や方法の整備を行い、短時間の会議開催を行うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人の生活支援を行う上での情報は、ケアカンファや会議等で共有が出来ている。 ・職員がご利用者の情報を把握しやすくするため、書式の整備を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	8	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	1	1	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	6	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	10	1	1	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	5	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の状況に合わせた基本的介護はできている。 ・申し送り等で日々のご利用者の気持ちや体調の変化については共有し、それに合わせた支援が行えている。 ・ご利用者それぞれの生活歴、人生歴は情報として積極的に収集するよう努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティングの開催が少なく、声にならない声についてチームで考える場が少ない。 ・全てのご利用者の「以前の暮らし方」を10個以上把握するというのは難しい。 ・ご家族との交流が少ないため、本人の自宅での生活状況の把握が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・臨時のミーティング開催を積極的に行い、日々のご利用者の「変化」に即時的に対応できるようにする。 ・普段のかかわりの中で、ご利用者の目に見える部分だけでなく、「声にならない声」について全職員が意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月20日(18:00～19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 上高原、松元、下満、山下、福田、松村、古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	6人	0人	12人

前回の改善計画		- 日々の会話や支援の中で、ホームを利用していない時の状況について把握に努める。 - 軒下マップへの記入を進める中で、社会資源について必要な資源の把握を進め、ご家族や利用者を通じ、関係性が構築できるようにアプローチする。				
前回の改善計画に対する取組み結果		- ご利用者とのかかわりやケアマネからの情報で、本人の自宅での生活についての情報収集はできている。 - コロナ禍の影響もあるが、本人の周りにある社会資源等の把握については不十分である。 - 軒下マップの活用が出来ていない。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	10	1	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	4	3	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	4	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	4	6	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- ご利用者とのかかわりの中で、これまでの生活スタイル等の把握はできている。 - ケアマネからの情報で本人の人間関係等もある程度把握が出ている。 - 本人とご家族の関係性を常に配慮するよう努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- コロナ禍においての接触が難しく、自宅での状況や地域資源等の把握が出来ていない。 - 家族へのアプローチの場面が少なく、民生委員や地域資源の把握については難しい。 - 日々の業務に追われ、地域資源等の把握が出来ていない。 - 地域資源や民生委員の把握はできていても、つなげるための支援が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 部内研修等で勉強会を行い、軒下マップを活用できるようにする。 - 新型コロナの状況を見ながらにはなるが、民生委員や町内会の方と連携して、事業所だけでなく地域とともにご利用者を支えられるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月20日(18:00～19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上高原、松元、下満、山下、福田、松村、古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	7人	2人	12人

前回の改善計画
- 新型コロナウイルスの収束後にはなるが、利用者の住んでいる地域へ出かけて行って、軒下マップ等を利用した社会資源の把握に努める。 - 社会資源についての理解が進むように、カンファレンス時等に積極的な情報提供を行うように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
- 新型コロナウイルスが収束せず、ご利用者の住んでいる地域に出かけることがなかった。 - 社会資源については、活用する場面が少なかった。社会資源を活用するという意識も希薄で、ミーティング等で話題に上がることも少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	1	7	4	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	9	0	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	10	0	1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	10	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 日々のかかわりから「変化」に気づき、本人の状態・ニーズに合わせて支援している。 - 申し送りやミーティング等で変化の情報について、積極的に情報提供を行い、共有できている。 - ニーズに応じた支援については、ケアマネ等と相談しながら対応している。 - ご利用者やご家族の希望に応じて、「通い」「泊り」「訪問」を柔軟に提供した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- コロナ禍で地域とのかかわりが難しく、地域資源の活用が出来ていない。 - コロナ禍が続く中で、地域資源を活用しようという意識がほとんどない。そのため、ミーティング等でも話題に上がらない。 - ご利用者を説得するのではなく、納得してもらった上での対応は、認知症の進んだご利用者に対しては難しく、その日・その時の本人のニーズに答えられているか不安もある。 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通い利用の制限を行った。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 送迎時など、地域の方へも積極的に挨拶をするなどして、顔なじみの関係の構築に努める。 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の際も、「通い」「泊り」「訪問」を上手く組み合わせながら支援が切れることないように努める。 - 社会資源とはどういったものがあるか。どう活用すれば、よりご利用者の生活が豊かになるかについて内部研修等で全職員が知る機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 20 日 (18:00 ~ 19:30)

6. 連携・協働

メンバー 上高原、松元、下満、山下、福田、松村
古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	6 人	1 人	12 人

前回の改善計画
・今後も新型コロナウイルスによる会議等の自粛は続くものとし、リモートで開催される会議や研修については、積極的に参加を計画する。 ・町内会の行事への参加は難しいが、廃品回収など協力できることに関しては積極的に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・リモートでの会議や研修には積極的に職員の参加をすすめたが、全職員の参加はできなかった。 ・廃品回収の際などは段ボールを提供する等、協力が出来た。 ・地域の公園清掃への参加はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	4	0	8	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	1	10	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	1	0	11	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	5	5	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・廃品回収 (町内会) の段ボール等を公民館に持って行っている。 ・リモートにて研修に参加した。 ・地域の子どもたちとの交流があった。継続できれば良いと思う。 ・WEB での研修には可能な限り参加することが出来た。 ・地域包括支援センターやその他の事業所とは、馴染みの関係が築けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・機会があまりなく、会議やイベントに参加できなかった。 ・コロナ禍の影響もあり、その他のサービス機関との会議等に参加できなかった。 ・コロナ禍で、地域のイベント自体が縮小しており、参加できていない。 ・新型コロナのため利用制限を行う等した際に、公園清掃と重なり参加できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域の行事や事業所との交流会などには人員の調整等に配慮して積極的に参加する。 ・リモートでの会議等には全職員が参加する機会を持てるように配慮する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 1 月 20 日 (18:00 ~ 19:30)
7. 運営	メンバー	上高原、松元、下満、山下、福田、松村 古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・地域との協働については、コロナ禍でも出来ることについて検討し、意見や苦情が寄せられた場合には、事業所として速やかに対応を行うように取組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍の影響もあり、地域とのつながりが希薄になっている。地域からの意見や苦情を聞く場面も少なかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	5	3	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	1	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	5	6	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者やご家族と接する中で、感じたことや改善案等について意見を発信するよう努めている。 ・意見や苦情等は職員会議やミーティングで共有できている。 ・会議等の中での職員間での意見交換はできている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍で機会がなく、地域に必要とされる取り組みができていない。 ・地域からの苦情はない。しかし、意見もない。コロナ禍も影響しているが、地域とのつながりが希薄になっている。 ・運営推進会議は文書報告が続いており、開催ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・感染症対策に注意しながら、運営推進会議を文書報告ではなく、開催する。 ・町内会の方や民生委員と定期的に連絡を取り、地域とのつながりが切れないようにする。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	1 人	3 人	12 人

前回の改善計画	・リモート研修についての情報を収集し、参加可能な研修については積極的に参加する。 ・資格取得や更新にかかる研修への参加について、勤務調整など事業所内で協力出来る事に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・リモート研修については職員が参加する機会を設けることができた。しかし、全職員に参加する機会の確保は出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	5	0	4	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	0	5	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	10	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	1	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・リスクマネジメントについて意識して取り組んでいる。 ・資格取得の研修に参加できた。 ・リモート研修に可能な限り参加できるよう配慮した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・人員不足から、外部研修にあまり参加できていない。 ・研修に参加する機会がなかった職員がいた。 ・コロナ禍の影響で、地域連絡会への参加が出来なかった。 ・ヒヤリ・ハットの報告が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・職場内研修や職場外研修を積極的に活用して、全職員がスキルアップを目指せるよう配慮する。 ・ヒヤリ・ハットは積極的に報告書を出し、重大事故を未然に防ぐ。 ・地域連絡会等にもリモートを活用して職員の参加に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 1 月 20 日 (18:00 ~ 19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上高原、松元、下満、山下、福田、松村
古野、川原、岩重、古賀、立中、瀬崎、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・成年後見制度については、部内研修など、定期的に研修の機会を設けることで、少しでも知る機会を増やすように取組みを行う。 ・個人情報保護については、環境に応じた対応方法（場所や声の大きさなど）を全職員が身につけられるように取組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・成年後見制度については学ぶ機会や対象となるご利用者がいなかったため、職員の理解が不足していた。 ・個人情報については、申し送りの際に本人の近くで本人の名前を言うなど、配慮の足りない場面が見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	6	6	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	4	7	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待は行っていない。 ・人権やプライバシーについての理解がある。 ・職員自身も環境の一部であることを理解して支援を行っている。 ・個人情報に関しては研修を行い、理解の周知に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修等の機会がなく、成年後見制度の理解が出来ていない。 ・成年後見制度については、制度を利用する対象者がいない。 ・職員自身に余裕がない時、スピーチロックに近い声掛けがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・スピーチロックはついつい出してしまうものという印象があるが、「拘束」の一部であるということを全職員が意識する。定期的にスピーチロックはなかったかを職員会議等で話し合う。 ・申し送りの際は、個人名を出さずにイニシャルで報告する等、配慮をする意識を持つ。 ・成年後見制度については職場内研修等を活用して、職員が学ぶ機会を設ける。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 メディコープ	代表者	中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様に「もうひとつの我が家」と思っていただけのように、利用者様を中心に家庭的な雰囲気の中、おひとりおひとりに合わせた支援方法が提供できるよう、職員一同日々の取り組みを行っています。 利用者様やご家族に24時間安心して過ごしていただけるよう、通いを中心としながら、訪問・宿泊のサービスを適宜組み合わせることで、利用者様やご家族に安心していただいています。 日常的には、利用者様を中心としてケアを提供するため、送迎時や連絡帳でのご家族との情報交換を大切に、些細な変化も見落とさないように配慮を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす南谷山	管理者	上高原 光介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援 センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所内の取り組みを振り返る機会として、職員会議やミーティングを通じて取り組みを継続して行うようにする。	新型コロナの影響もあったが、ミーティング等での利用者受け入れの情報共有や、担当者会議への職員の参加などについて改善することが出来た。	- カンファレンスやミーティング参加で、皆さんが努力されている様子が良く伝わってきました。 - 多忙な業務の中、コロナ禍での感染対策にも日々留意しながら、「なんとかできている」という評価が多数あり、現状維持できていること自体素晴らしいと思います。	- 新型コロナの影響が大きく改善できなかったことに関して（特に地域との関係等）積極的に改善のための取り組みを行う。 - 改善できた点に関しては継続して取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	- 玄関先の美化活動や畑の維持については今後も継続していく。 - 看板や張り紙等で「介護の相談が出来る場所」であるということを周知できるようにする。	- ご利用者との活動に畑を活用することが出来た。 - コロナ禍ということもあり、「介護相談どころ」としての役割は果たすことが出来なかった。	コロナ禍の中、感染拡大防止で現場を確認できなかったため不詳。	- 看板や張り紙等で、地域の介護相談どころとしての地域からの認知度を高める。 - 畑や花壇等を利用者だけでなく、地域の方とのかかわりにも活用する。
C. 事業所と地域のかかわり	- 回覧板や地域の方々との交流などから、小松原カフェ以外の地域との関わりを見つけていく。 - 地域の廃品回収などの協力できるものを探して、積極的に参加する。	新型コロナの影響で、地域との関りがほとんどない中ではあったが、段ボールや古紙回収の協力を継続することが出来た。	- 事業所との関りがほとんどなく、顔も覚えられないくらいであった。 - コロナ禍での地域との関りや地域資源の把握の難しさは、包括センターも同様に感じる。 - コロナ禍のため、地域の行事がほとんど中止で、おあしすの方の参加も出来ず残念でした。	- コロナ禍も収束が見えてきているため、地域の行事には積極的に参加する。 - 事業所での行事に地域の方が参加できるように積極的に発信する。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・「軒下マップ」の記入・把握の中で、ご利用者の地域とのつながりや社会資源について積極的に情報収集をする。 ・担当者会議へのスタッフの参加回数を増やすように努める。	・「軒下マップ」については、職員の勉強不足もあり、活用できていなかった。 ・担当者会議へのスタッフの参加は、数回ではあるが実現できた。	・コロナ禍のため、町内のイベントと一緒に参加して、町内の様子を話す機会がなく、利用者以外の方にも知らせるチャンスがなかった。 ・地域の困難事例など、今後も一緒に連携していきたいと考えています。	・「軒下マップ」の活用について、スタッフも学習し、地域資源の活用につなげる。 ・担当者会議へスタッフが参加する機会を増やせるように努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・新型コロナウイルスの収束後にはなるが、職員も可能な限り参加できるように体制を整える。 ・新型コロナウイルス収束までは手渡しによる文書配布を継続して地域との関係性を途切れさせないようにすると共に、情報共有を図る。	・運営推進会議は文書報告が続いており、スタッフの参加はできなかった。 ・文書報告の際は、手渡しをして、地域との関係性を途切れさせないように努めた。	・書面開催では、意見交換や情報共有しきれない部分も多く、コロナ化が収まりましたら、地域の方を交えたい見交換が出来たらと思う。 ・文書報告での運営推進会議でしたが、事業所の様子を知ることが出来、ありがたい。	・運営推進会議は対面形式で行い、地域とのつながりが密となるよう努める。 ・地域と事業所、包括センターで情報共有に努める。
F. 事業所の 防災・災害対策	・新型コロナウイルス収束後には消防職員立ち合いでの地域住民の方や運営推進会議メンバーも参加してもらった防災訓練を行う。 ・地域で開催される防災訓練にも、可能であれば参加を検討する。	・消防隊員の同席のもと、避難訓練を実施することができた。 ・地域での防災訓練へは参加できなかった。	・災害時における事業所に求められる役割、または対策や備えなど、事業所だけでなく、地域で検討できる機会があればと思います。	・消防隊員だけでなく、地域住民も参加した防災訓練を実施する。 ・地域で開催される防災訓練も参加できるよう努める。

